

ねりま協働ラボ 補助金申請サポート講座

秋本創（特定非営利活動法人埼玉情報センター事務局次長
BABAlabスタッフ／まちづくりユニット「まち・あわせ」）

MAIL : so.akimoto@gmail.com

X : [@akimoto_so](https://twitter.com/akimoto_so)

Instagram : [akimoto_so](https://www.instagram.com/akimoto_so)



資料はここから
ダウンロードで
きます

自己紹介

秋本 創 : 足立区NPO活動支援センター相談員
NPO法人埼玉情報センター
BABA labスタッフ



Instagram ▪ X (旧Twitter) ▪ Facebookで



Instagram : akimoto. so

Facebook : www. facebook. com/akimoto. so/

X (旧Twitter) : @akimoto_so

と検索してみてください。
このアイコンが出てきます。

補助金の考え方

補助金申請書作成はコミュニケーション

- 補助金申請書作成はコミュニケーション。
- コミュニケーションは「聴く」ところから始まる。
- 私が師匠に言われたこと…

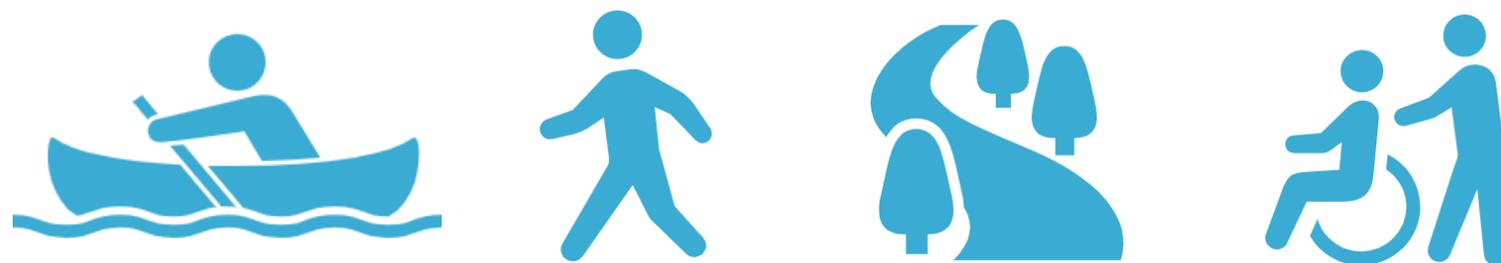
「募集要項を穴が開くほど読み込め」

- 書類をきちんと読めない（書けない）
人には大切なお金は預けられない。



自分たちに合ったところに申請する

- 補助金は「お金がもらえる」という単純な話ではない。
- 合わない補助金は団体を疲弊させる。
- 補助金では 「本当にやりたいこと」 をやる。
(合わないならやらない)



申請書作成はコミュニケーション

申請書を書く前に意識しておいてほしいこと

- 誰に伝えるのか？ : **審査員に**
- 何を伝えるのか？ : **補助事業で何をやるか**
- なぜ伝えるのか？ : **納得してもらうため**

誰に伝えるのか

- 「好きなことを書く作文」ではなく「伝えるべきことを相手に分かりやすく書く報告書」のようなもの。
 - 審査員が専門性が高いとは限らない。
 - きちんと丁寧に説明する。



何を伝えるのか

- 伝えるのは過去ではなく未来。何をしてきたか、補助金で何をするか。
- 普段の「活動」と補助金で行う「事業」は別物。
- 補助金で行う「事業」は、特別なことではなく、普段の活動のその先にあるもの。
- 大切なのは「切り抜きが可能である」ということ。



普段の「活動」と補助「事業」の違い

ex

- 普段の活動：**毎週**公民館で看護師などの医療関係者によるシニアの無料健康相談会を開催。
- 補助金事業：**〇月〇日**に有名な医師を呼びシニア向けの健康セミナーを行い、その会場で医療関係者による無料健康相談会。

切り取りが可能なので、その事業の効果や予算を考えることができる。さらに普段の活動につなげることも。

活動内容を絞り込む

- 補助事業は活動の中の**一部**です。**ここで全部解決しよう**と考えないということが大切です。
- 「あれもやりたい」「これもやりたい」だと結局**何がやりたいのか分からなくな**ってしまいます（そういう申請書が多い…）。
- この事業では「**全体の課題の中で、この部分の解決を目指そう**」と割り切って考える必要があります。

補助事業を考える

まずは書類をじっくり見てみる

- 申請書類作成はコミュニケーション。自分のことを伝える前にまずは相手の話をしっかり聞く。
- 申請に関する情報をしっかり読み取り、この事業がどういうものなのかをしっかりと理解する。

募集要項（詳細な情報）

必ず、募集要項をご確認のうえ、ご応募ください。
練馬区役所9階協働推進課、区民協働交流センター（ココネリ3階）で配布しています。

↓ [ねりま協働ラボ 募集要項](#) (PDF: 4,111KB)

掲載内容

ページ	掲載内容
2	ねりま協働ラボの概要 (PDF: 680KB)
3	対象事業・団体 (PDF: 990KB)
5	支援期間・内容 (PDF: 1,447KB)
8	スケジュール（応募から審査、事業開始まで） (PDF: 500KB)
9	エントリーから審査までの流れ (PDF: 2,550KB)
14	事業実施の流れ（採択事業決定後） (PDF: 1,625KB)
17	参考事業例 (PDF: 1,224KB)
19	よくある質問Q&A (PDF: 3,031KB)

応募（エントリー）について

募集期間

令和7年6月1日（日曜）から8月29日（金曜）まで

内容

「地域課題解決のために実現したい活動」や「区や他団体とどのように協働していくか」などのアイデア

提出書類

↓ [ねりま協働ラボ エントリーシート](#) (Excel: 29KB)

↓ [【記入例】ねりま協働ラボ エントリーシート](#) (PDF: 803KB)

協働推進課窓口（練馬区役所本庁舎9階）で配布しています。

今回のポイントのひとつは“具体的”

【記入例】 エントリーシート

アイデアを教えてください（800字以内）

タイトル： 練馬発！子ども食堂からおせっかいなまちづくり

地域の課題と感じていることやその背景、協働することによりどのようなことが可能になるのかを含めてお書きください。

地域課題の背景や現状を具体的に記述

●●の統計では、●●年時点のひとり親家庭は●●人、ひとり暮らし高齢者の数は●●人とされている。当団体が拠点としている●●地域にも、ひとり親世帯、ひとり暮らし高齢者等が多数居住している。

上記の背景の中、当団体は、多世代交流や、食を通じた居場所作りを行うため、子ども食堂（子どもだけでなく参加可）を運営している。当団体を利用する人の数は、年に●●人であり、まだ主な支援を必要としている人に情報が届いていないと考えられる。また、せっかく当拠点の利用を希望している方がいても、区内の運方に居住している等の理由により、なかなか接触して遇えない方も一定数存在する。

そこで、区と協働して、子ども食堂の連携システムを作り、情報を広げたいと考える。そこから、地域の企業等とつながって、支援やボランティア事業もできる窓口として活用したい。また、子ども食堂の広げや団体同士をつなげることを目的としたイベントを開催したい。さらには、子ども食堂団体だけでなく、生活を変換する団体にもシステムへの登録を促し、実験期間中での登録団体●●団体、システムを通じた課題の利用者●●人を目指す。また、利用者数が増え、利用をお断りしている事、支援が必要な企業への対応が難しい団体には、近隣の団体とスタッフを融通しあって、連携して利用者を受け入れるような体制づくりにも活用してもらいたい。

課題解決策を具体的に記述

これらの取組により、区内で支援が必要な世帯や、孤独を感じている方にも、子ども食堂をはじめとする様々な取組を知ってもらい、気軽に利用してもらえよう。将来的には、この取組を全国に発信して、練馬区を行政と住民団体が実社会のまちとして、残したい。

課題解決後のゴールを具体的に記述

対象事業要件の確認

対象事業要件を確認して☑を入れる

以下の事業要件に適合するか否かを確認の上、チェックを付けてください。

① アイディアの実現化に向けて、事業の計画から実施まで主体的に実施することができる。

② エントリーするアイデアに関して、既に他の補助金等を受けていない。または受ける予定はない。

地域課題の背景や現状を具体的に記述

課題解決策を具体的に記述

課題解決後のゴールを具体的に記述

書くべきことは3点

①背景と現状

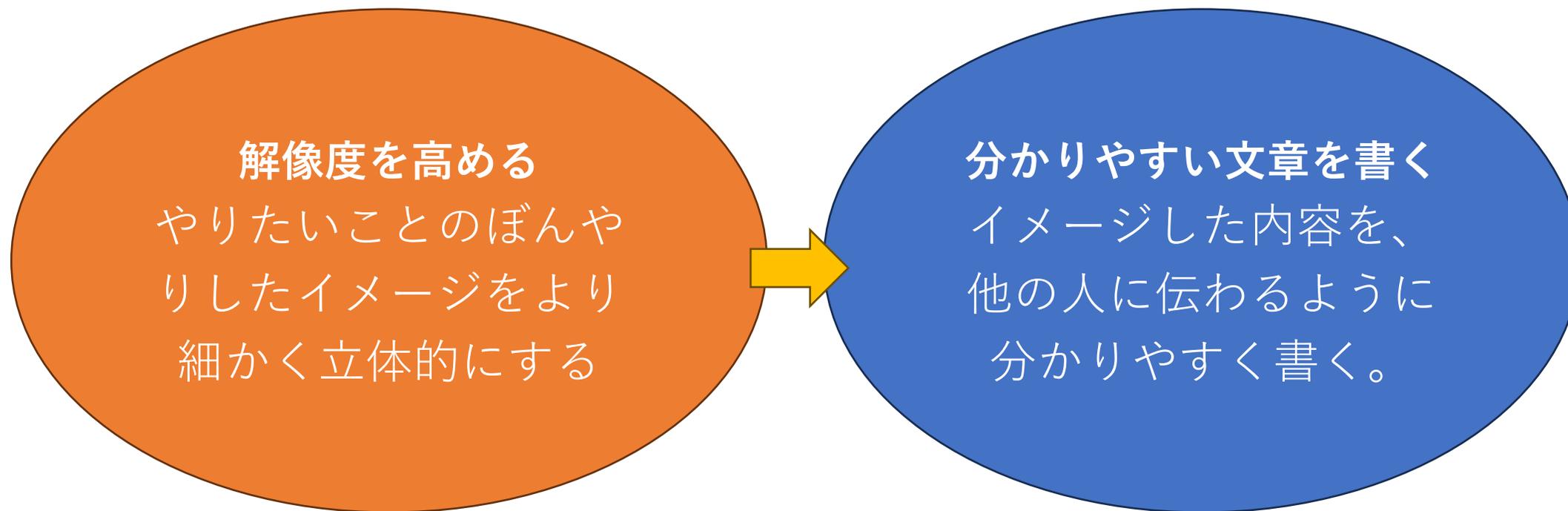
②解決策

③ゴール

ポイントは

具体的

具体的に書くには…



というふたつのステップが必要。

背景・解決策・ゴール

- **背景**：背景にある課題を明確に伝える。
- **解決策**：解決策（活動内容）を具体的に、またなぜその方法が有効かという話も。
- **ゴール**：数値で測れる成果（定量）と、実感・変化などの成果（定性）の両面から考える。何をやったかではなく、やったことで「誰」が「どのように」変化したか。



最初は1行でOK

- まずは**1行**書いてみましょう。**1行**書くと、それを手掛かりにアイデアを深めていくことができます。
- 課題が見えているけれどアイデアがない場合でも、まずは**1行**、頑張って書いてみてください。あとから変えてもOK。もし思い浮かばない方は他の事例を見てみることもお勧め。



最初は1行でOK

「なぜ？」で突き詰めて背景（課題）を言語化する。



こども食堂をやりたい。



まずはこの1行でOK。

「6W3H」で突き詰めて対応策（事業内容）を言語化する。

背景の書き方：悪い例

近年、社会全体で子どもを取り巻く環境は複雑化しており、さまざまな課題が顕在化しています。地域におけるつながりの希薄化や家庭の抱える問題も多様化しており、支援の必要性が高まっています。こうした中で、子育て支援における地域の役割が重要になっています。

⇒具体的にイメージできない。

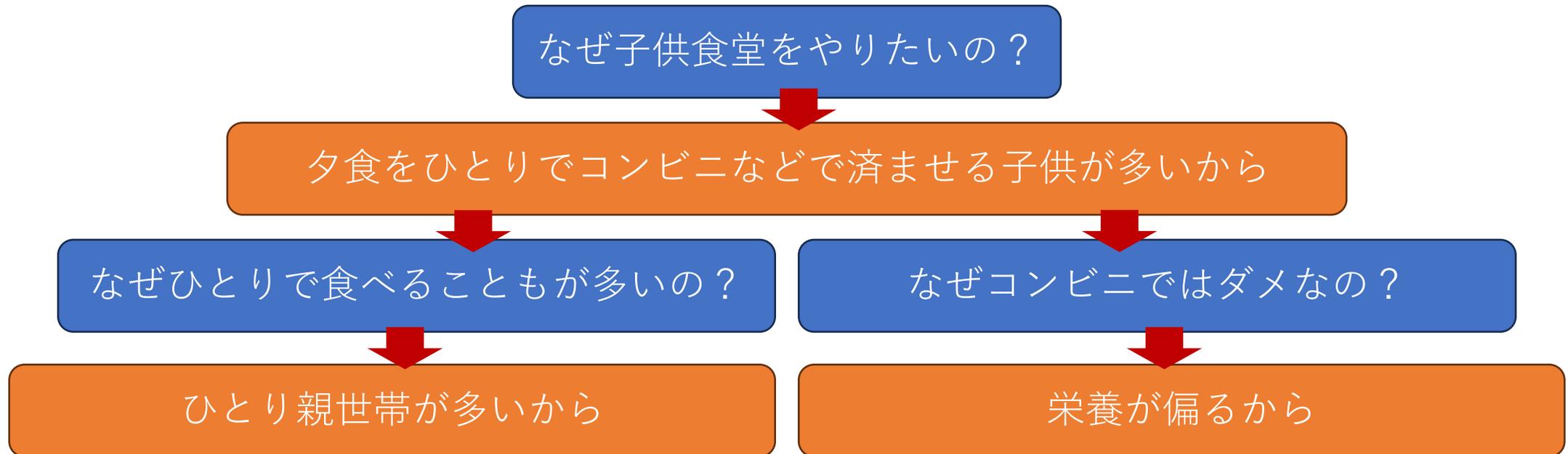
背景：良い例

〇〇区では、ひとり親家庭の割合が〇〇%と全国平均を上回っており、経済的理由から夕食をコンビニ等で済ませる子どもも少なくありません。区内の小学校の教職員からは「家で一人きりで食事をしている子が多い」という声もあり、孤食や栄養の偏りが懸念されています。こうした背景から、地域で子どもたちを支える仕組みが求められています。

⇒具体的にイメージできる。

具体的に書くためのポイント① 「なぜ」で深める

- 自らの考えに「なぜ」と問いかけることで考えを広げ、深めることができる。



具体的に書くためのポイント② 数字と声

- 「数字」と「声」で客観性を出す。

→ 「主観的な個人の想い」から「客観的な社会課題」

〇〇区では、ひとり親家庭の割合が〇〇%と全国平均を上回っており、経済的理由から夕食をコンビニ等で済ませることも少なくありません。区内の小学校の教職員からは「家で一人きりで食事をしている子が多い」という声もあり、孤食や栄養の偏りが懸念されています。こうした背景から、地域で子どもたちを支える仕組みが求められています。

事業内容（解決策）：悪い例

地域における子ども支援の一環として、多様な関係者と連携しながら包括的な取り組みを展開するための拠点としてこども食堂を運営します。こどもたちが安心して成長できる社会の実現を目指し、地域全体で支え合う体制づくりに貢献します。

⇒具体的にイメージできない。

事業内容（解決策）：良い例

経済的に困難な家庭のこどもたちに、安心して過ごせる居場所と温かい食事を提供するこども食堂を開設します。週2回、管理栄養士の監修による手作りの夕食を無料で提供し、食後には学習支援や地域の大人との交流の時間を設けます。地域のボランティアや企業とも連携し、持続可能な運営を目指します。

⇒具体的にイメージできる。

具体的に書くためのポイント③ 6W3Hで深める

- 具体化するときには6W3Hを使う

What : 何を

Who : 誰が

When : いつ

Where : どこで

Why : なぜ

Whom : 誰に向けて

How : どのように

How much : いくらで

How many : どれくらい

⇒これをきちんと考えて埋めることで解像度が上がります。

背景：良い例

- 経済的に困難な家庭のこどもたちに、安心して過ごせる居場所
Whom How/Where
と温かい食事を提供するこども食堂を開設します。週2回、管
How How many/When
理栄養士の監修による手作りの夕食を無料で提供し、食後には
How What How much
学習支援や地域の大人との交流の時間を設けます。地域のボラ
What Who What Who
ンティアや企業とも連携し、持続可能な運営を目指します。
Who How

6W3Hの表（書けるところだけでOK）

What	
Who	
Where	
When	
Why	
Whom	
How	
How much	
How many	

6W3Hの表（書けるところだけでOK）

What	安心して過ごせる居場所と温かい食事を提供、食後には学習支援や交流の時間
Who	地域のボランティア、管理栄養士の監修
Where	代表の経営するカフェ〇〇
When	週2回、水曜日と土曜日の18時～20時
Why	子どもたちの健全育成、子育て世代へのサポートのため
Whom	経済的に困難な家庭のこどもたち、親が参加してもOK
How	地域のボランティアや企業とも連携
How much	大人は500円・子どもは無料
How many	地域の企業や商店街、ボランティアから食材をもらい、20人前まで提供する

これを文章化してみる

- Whyで深めたもの、6W3Hで出てきたものをひとつの文章として書き出してみる。
- 大切なのはストーリー。ストーリーが納得感を生む。



この一連の流れがストーリーとして成立していることで納得感を得ることができる。

生成AIの活用

- 生成AIを活用して文章を作ってもらうこともできます。

この内容で助成金の事業内容を400文字の文章でまとめてみてください。

What 安心して過ごせる居場所と温かい食事を提供、食後には学習支援や交流の時間

Who 地域のボランティア、管理栄養士の監修

Where 代表の経営するカフェ〇〇

When 週2回、水曜日と土曜日の18時～20時

Why 子どもたちの健全育成、子育て世代へのサポートのため

Whom 経済的に困難な家庭の子どもたち、親が参加してもOK

How 地域のボランティアや企業とも連携

How much 大人は500円、子どもは無料

+ ツール

先ほどの6W3Hを入力して文章をまとめてみてと指示すると…

以下に、助成金申請向けの400文字程度の事業内容文をまとめました：

本事業では、経済的に困難な家庭の子どもたちに向けて、安心して過ごせる居場所と温かい食事を週2回（水・土18時～20時）、代表が運営するカフェ〇〇にて提供します。地域のボランティアが調理を担い、メニューは管理栄養士が監修。食後には学習支援や交流の時間も設け、子どもたちの健全な成長と保護者の孤立防止を目指します。子どもは無料、大人は500円で参加可能。地域の企業・商店街からの食材提供を受け、最大20食分を提供。ボランティアや企業と連携し、地域ぐるみで子どもと子育て世代を支える取り組みです。

文字数に合わせてまとめてくれます（あくまで参考資料として）。



ゴール

- ゴールは「何をするか」ではなく「何が変わるか」。
- 数値で計れる定量的な成果と数字で計れない、実感地を伴う定性的な評価の両面から考える。
- 背景（課題）と対応策（実施事業）から導かれる答えとして、いかに納得感のあるものになっているかが大切。

背景（課題） × 対応策（実施事業） = ゴール

⇒ この式が **「誰が見ても納得できるもの」** であること

団体にできないこと・行政にできること

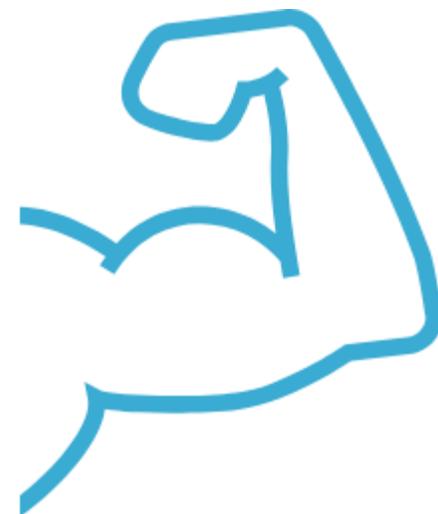
- 今回は「協働することによってどのようなことが可能になるのか」を考えるということがテーマになります。
- 「自分たちではできないこと」と「行政ならできること」、逆に「自分たちにはできる」けれど「行政にはできない」ことをきちんと区別して考える必要があります。
- それを知るためには行政（区）の施策や実績をきちんと調べて理解することが大切です。

団体にできないこと・行政にできること

団体にできないこと	行政にできること
団体にできること	行政にできないこと
一緒にならできること	

自分たちの強み

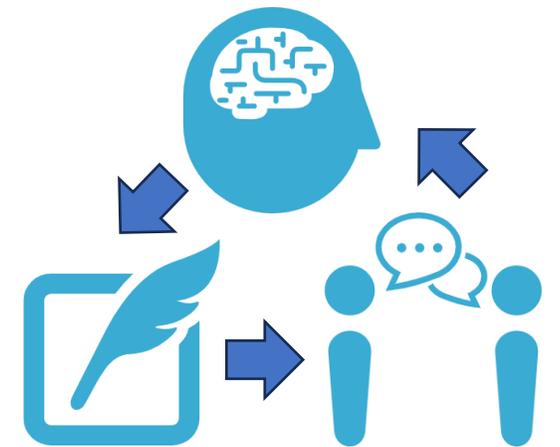
- 次に書くべきは団体の活動実績です。
- 実績・強みとアイデアをきちんと関連付けて記載してください。
- 「**実績**」と「**強み**」は別物。
- 実績には数字や具体例を入れると有効。
- 「強み」は実績×人材・ネットワーク。
- 独自性、自分たちに**しかない**強みを。



アイデアを深める3つのステップ

- アイディアをまとめたら、今度は誰かに話してみてください。
- 話すことで深まったアイデアを今度は書き留めてください。
- **「考えて」 → 「書いて」 → 「話す」** を繰り返すことで、アイデアはどんどん深まっていきます。

このサイクルが1番効果的→



伝えるための文章を書く

分かりやすい文章の書き方

- 最後に求められるのは「分かりやすい文章」。せっかくだいい内容ができて理解してもらえなくては意味がない。
- 文章はいくつかのポイントを押さえるだけで分かりやすくなる。
 - ①1文を短く、全体も短く
 - ②結論を最初に言う
 - ③カタカナ語や専門用語を無駄に使わない
 - ④ミスをなくす

一文を短く、全体を短く

文章を短くするメリット

- ・分かりやすい
- ・ねじれ文などが出てきにくい
- ・リズムが出やすい



参考：1センテンス40～50が標準、短文20字前後、長文70～80字

結論は最初に言う

- 起承転結は分かりやすい文章には適さない
- ニュース記事などで使われる結論先の**逆三角形**
- 簡潔かつ説得力のある文章を作成する**PREP法**

P=Point (結論)

R=Reason (理由)

E=Example (事例、具体例)

P=Point (結論を繰り返す)

カタカナ語や専門用語に注意

- NPOは意外と専門的、その言葉を読む人が知らない場合もある。
- カタカナ語も多世代に伝わるとは限らない。
- 相手に分からない言葉を使う＝相手に伝えようとする意思がないと思われても仕方ない。
- できるだけ平易な言葉で書くことを心がける。

ミスに注意する

- 誤字脱字やねじれ文など**ケアレスミス**に注意する。
- 誤字脱字のある申請書は事業をきちんとこなせる？
- 読み終わった文章をかならず読んで見直す。

⇒ここでも生成AIが有効



箇条書き

- 申請書は**箇条書き**でもOK。
 - 箇条書きは一目で分かり、整理されやすく、伝わりやすので**積極的に活用してください。**
 - ただし、以下の場合には箇条書きが向かないことがあります
 - ①背景など深い説明、論理的なつながりが必要なとき
 - ②「想い」を伝えたいときに、箇条書きだと無機質に感じる
- ⇒箇条書きは有効ですが、文章で丁寧に説明する方がいいことも**

書けたら音読してみよう

完成したら必ず**声に出して**読んでみてください

<音読の効用>

- 誤字、脱字に気づく
- リズムが分かる
- 文章の辻褄があっているか分かる
- 漢字を使う割合が分かる
- 句読点を打つかどうかが決まる
- 読みにくいところが分かる



誰かに読んでもらう

書き終わったら**第三者**に読んでもらう

- 自分では気づかないミスが見つかる
- 分かりにくい表現が見つかる
- 専門用語など、一般的でない内容や表現が見つかる
- できれば生成AIにもチェックしてもらいましょう



申請書はコミュニケーション

- 審査員は「できれば通したい（お金を出したい）」と
思っています。
- その人にいかにして丁寧にしっかりと説明して、理
解・納得してもらおうか。
- 申請書類はコミュニケーションです。
- あなたの想いをしっかりと伝えてください！